

平成24年度「測量の日」における功労者感謝状贈呈について

国土地理院では、測量・地図に対する国民の一層の理解と関心を高めることを目的として、平成元年度から、測量・地図に関する普及・啓発に顕著な功績のあった団体又は個人に対し感謝状を贈呈しています。

平成24年度は、次の3人の方々に感謝状を贈呈します。

(五十音別 敬称略)

◆ ^{たかぎ} ^{まさたか} **高木 方隆** (高知工科大学 システム工学群教授)

平成18年から「測量コンテスト in 高知工科大学」を開催し、測量技術者や測量を学ぶ学生の技術力の向上に寄与している。この大会は、精密な測量技術を競う「精密機器部門」のほか、測量のアイデアを重視する「自作機器部門」を設け測量の原理・原則に立ち返って技術力を養うきっかけとなるよう工夫を凝らした大会で、四国地域の工業高校、高等専門学校、大学等の参加のみならず、関西方面を含め広く一般からの参加者も募集し、測量技術の発展・向上に尽力されている。

◆ ^{ながさわ} ^{としあき} **永沢 敏秋** (一般社団法人 山形県測量設計業協会相談役)

山形県内の測量を学ぶ高校生が一同に会して学習成果を試す機会である「山形県高等学校サーベイコンテスト」の運営に第1回から関わり、平成14年度からは実行委員長として開催に尽力されており、同コンテストは今年度20回という節目を迎えるまでに至った。長年にわたり、若い測量技術者を育成する活動を通じて、測量の技術向上を図ると共に、測量と地図の普及・啓発に対して多大な貢献をされている。

◆ ^{わたなべ} ^{やすし} **渡邊 康志** (琉球大学、沖縄国際大学、沖縄大学非常勤講師)

平成12年に「GIS沖縄研究室」を立ち上げ、Webサイトを開設して、地理空間情報の活用方法の紹介、各種活用ソフト及びGISデータを作成・提供するなどの活動を通じて、行政機関や地域市民へGISの普及・啓発及び人材育成を行っている。また、地域防災に、積極的に取り組み、標高データを活用した沖縄県全域のハザードマップの公開、自治会単位でのハザードマップの作成・支援など、GISの普及と地理空間情報の活用促進に多大の貢献をされている。